

昭和53年卒（46回生）八回生

浜田 尚

お詫びとこれまで、
そして二人の恩師

新年を迎え、OB及び現役各位におかれては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

まず冒頭に当たり、深くお詫びを申し上げたい。私がOB会長として推挙を受けてから、会長としての役職を何も果たさず土下座に値するものである。OB・現役各位においては、至極ご立腹のことと推察する。ここに「誠に誠に、申し訳ない極みであります」。

二松剣OB
編集局

第17号

紙面にて失礼ながら伏してお詫び申し上げます。

令和六年、私は六十九歳になる。大学を終えた四十数年前、現役の合宿に参加させていただいたことを懐かしく思い出しながら文字を綴っている。その節は、大変お世話になったと感謝している。それにも増して、多分に迷惑をかけたことを深くお詫び申し上げます。冒頭の言い訳になる。卒業後にいささか思うところがあり、小学校の教員を志した。そして、教職の世界に没頭した。不真面目だった学生気分から、抜けたせつたようだった。

それからずっと、走ってきた。教職人生の半分は学級担任として、半分は管理職として務めた。いじめ・不登校・クレマー・多忙等々、難題課題多き教育界にどっぷり浸かった。

支えは子どもでもある。毎朝、登校する子どもの笑顔に支えられ「一人一人に寄り添った心のこもった教育」をやり切ることだった。校長職は、六十二歳までやった。その後も、再雇用等で教育に関連する職務についてきた。今は、生まれ育った故郷の郷土資料館長として、故郷に貢献できることは何かと思考しながら日々務めている。そう、まだ走っている。



剣道については、三十歳そこそこまでは県学校剣道連盟の教員チームで全国教職員大会等に出させていた。しかし、教後の世界への浸かりが厳しくなり自ら竹刀を収めた。三十代後半、知人地域に誘われ見学に行った。子どもたちが活き活きと稽古している姿に、心を動かされ触発された。そして入会し、竹刀を構えた。

今は。当剣道教室「新潟市小針剣道教室」（HPあり）の二代目として、先代から教室運営を引き継ぎ、微力ながら剣士を育てている。これまで、教室から巣立った子どもたちの数知れず、現在週三回子どもも大人も大勢が修練の汗を稽古で流している。もうすぐ五十周年を迎える。もし、新潟市へ来られることがあれば、ぜひ声掛けをしていただきたい。

二人の恩師。一人は当時の剣道部の監督であり、現在も月岡君が編集をされている「剣道日本」を創刊された滝泰三先生。本当に可愛がっていた。

き、東京の親父のように慕った。訃報を聞いたときには愕然とした。所沢のご自宅へ、私と中山、須田の三人で伺い、お仏壇の前で号泣した。先生にお会いできたからこそ、剣道と人生の質ができたからこそ、剣道と人生の質ができた。今も机上で、笑顔で、私を見ていてくださる。

もう一人は、向かいの付属高等学校の体育教師で高校剣道部の監督

結びに、新年には相応しくない、戯言のように文章を綴ってしまった。お許し願いたい。コロナ禍をはじめ、今まで経験したことのない激動の世相がめまぐるしく続いている。どうか、OB及び現役各位、健康で元氣で過ごしてほしい。私たちは剣道で繋がっている。できれば、健康生活、精神修養等々、ぜひ剣道を続けて欲しい。そうでなければ、剣道の思い出は語れても、剣道は語れない。

今は、「剣先は相手の左目に付け、間合いに入ればのど元に付け、先を付け出鼻（出頭）を打つ」で楽しんでいる。一生稽古である。



観



新潟市小針剣道教室のホームページ。コピー出来なかったので写真での掲載です。



稽古お願いします！

私的な事を綴ります。（一）

昨年十一月、二松学舎大学 大地武雄名誉教授の叙勲祝賀会上京時、岩立先生の千葉松戸「松風館道場」でお稽古を頂きました。

事前に岩立先生へ稽古に行かせて頂きたい旨メール連絡させて頂いたところ、即返信で「了解しました！私も全日本選手権大会が終わりの次第道場に帰ります。当日は、台湾から十七人も参加して稽古します。」との内容。長谷川日出世先生にも電話して「法定の形」をご指導頂くご依頼をしました。

夜行バスで新宿バスタに到着。JR新宿駅で周遊キップを購入しよつとしたところ買い方がわからない。緑の窓口は外国人でいっぱい。仕方なく自動券売機で操作したがわからなく、横でスムーズに購入してた人に聞こうとしたところ、何と外国人。「俺は何で田舎もなんだ！」

上京したら必ず「靖国神社」「泉岳寺」「全生庵」に参拝。二松学舎大学学舎祭（今は名前変わってる）へ。受付で剣道部を聞くと、「本日は誰も来ていません」との事。残念ながら「二松剣」を渡して祝賀会へ。終了後松戸へ向かうが、途中北綾瀬へ行ってしまいい長谷川先生との約束時間に遅刻。約40分「法定形」をご指導頂きました。

その後、台湾の剣士がぞくぞくと到着。まずは日本剣道形稽古。岩立範士ご指導で台湾女剣士が通訳。通訳はまず自分自身が出来ないと言訳出来ないのを実感しました。続いて基本稽古。道場の方々が参加されるので道場内は熱気むんむん。その後は地稽古。夜行バス（渋谷発）の為途中で抜けさせて頂く際、岩立先生が「シャワーを使って汗を流してお帰るなさい」と、何とまったくないお心遣い。お土産も頂戴し、感謝しながら道場を後にしました。帰宅時、先生からメールを頂き「あなたは〇〇である。ここを〇〇するともっと良くなります」とご指導頂きました。早速地元で心がけて実行してみると、

「出来る！」し、稽古後お相手からも「何か違っ？」と言われていきます。ほんと欠点と矯正法を一瞬でご指導頂きありがとうございます。これからお稽古が楽しくなります。

（写真は「松風館道場」岩立先生と。シャワーの後。腹出てるでしょ。疲れが出たのか帰宅数日後痛風が出ました。）



主将 （現役二回生） 松尾 空



九月の関東学生剣道優勝大会をもって四年生の先輩方は、剣道部を引退されました。前主将の石丸先輩に代わり、現主将を務めております。二松学舎大学文学部国文学科の松尾です。早いもので、二松学舎に来てから二年の月日が経とうとしております。この原稿を執筆している十一月現在、四年生が教育実習を終え卒業論文に奮闘の日々。三年生は介護等体験やインターンシップ・企業説明会など着々と進路を固め、二年生は来年次より始まるゼミナール選考、一年生は初めての秋学期学生生活に揉まれるなど学生達は、各々頑張っております。

私自身は、平安時代の古典文学や歴史文化などを専門として研究をしています。『伊勢物語』や『枕草子』、『源氏物語』などの平安文学を中心に、言語や書・歴史文化・宗教などを織り交ぜて実に、様々な分野および観点か

ら平安時代を研究しています。古代から変化するモノ、変化しないモノ、姿を変えて生き続けるモノ、その消長の在り様などを窺い現代に還元し新しいものを生み出す、過去と現代を比較して検証し今を生きる力を養うことを目的とするこの研究は非常に心躍ります。また、副専攻として書道を専門としています。現在は、楷・行の古典を中心に臨書および作品制作をし、学術的な面では日本の書道史を研究しています。様々な先生方よりご指導ご鞭撻のほどを賜り、日々精進させて頂く毎日です。さて、近頃の剣道部の状況ですが現在部員数は二十三名で活動をしており非常に和気藹々としたメンバー達です。新型コロナウイルスの影響により、先代の先輩方は思うように活動のできない状況下になりました。その悔しさや

無念さを受け、幹部交代の際に「今の状況で私にしかできない部活動を作り上げよう」と決意したことを今でも鮮明に覚えております。

情報社会・IT機器が著しく発展するこの世の中の情勢を受け、SNSや情報機器などを駆使して活動をしております。各大会や合同稽古・錬成会などにも積極的に参加をし、部の雰囲気や活動などを少しでも多くの方に知って頂ければとインスタグラムやX（旧Twitter）

します故、応援して頂けると幸いです。OBの皆様方には、是非とも稽古をつけて頂きたいと存じます。現在も顧問の長谷川日出世先生や現監督の工藤佑樹先生をはじめ多くの先生方・先輩方にご指導を賜っております。上京の際には、お声掛けを頂けると幸いです。最後になりますが、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。



（旧Twitter）ティング資料・稽古日程カレンダーおよび稽古内容などが記載されている冊子本を基に月一でミーティングを必ず行っています。十一月は、三週連続で公式戦の大会があります。まだこれからチームではありますが、一生懸命に文武両道で健闘



新入生歓迎会コンパ！ 和気あいあい(^_^) おいしいお酒頂きます！
先輩方、かわいい後輩ですよ！ 応援お願い致します！



左から、
齋藤先輩、田中先輩、福山先輩、神崎先輩



渡辺住香先輩
昨年三月、淡路島に言った時の写真。
人気のスポット。
美味しそうなケーキの写真も頂きました
が掲載出来ず残念です。

全国からの写メール



名嶋先輩 「現在担任をしている1年3組です。59歳だがクラス担任をまだやらせてもらえる幸せ！」

NHP心と体の栄養源

剣道日本



和風スポーツバー

残心 ZANSHIN

TEL.03-6907-0310

東京都豊島区南池袋2-26-10
アクティオーレ南池袋 3階
営業時間 17:00~24:00
金・土（祝前日）～AM4:00
昼稽古（ランチ）11:30～14:00

FAX. 03-6907-1902
http://www.zanshin.tokyo
info@zanshin.tokyo



同期の斉藤陽枝さん。
長谷川町子記念館 サザエさん一家。
栃木市 岩下の新生姜ミュージアム（入場無料）